

シルバー  
*Silver*

しながわ

## 鮮やかに輝く稼穡稻荷社の銀杏



こちらは北品川二丁目所在の稼穡稻荷社（かしょくいなりしゃ）のご神木である銀杏です。高さ23m・幹周り4.1m、推定樹齢500年～600年と言われ、品川区指定天然記念物になっています。樹勢も盛んで姿も整っており、品川区内の銀杏の中でも屈指の巨木です。品川図書館の裏手にあり、目黒川からもその姿を見ることができますので、ぜひ散歩のコースに入れてみてはいかがでしょうか。



## インボイス制度への対応策について

INVOICE



令和5年10月から始まる消費税の適格請求書(インボイス)制度について、シルバー人材センターに適用除外特例が認められない場合の当センターの対応策についてお話しします。

この対応策は、残すところあと1年に迫った制度実施に対応するための採るべき基本方針となります。

すでに、第145号(令和4年4月1日発行)で、全国シルバー人材センター協会が提示した内容についてはお伝えしましたが、東京都のシルバー人材センター連合会の方針は、いまだ決定していない状況です。

しかしながら、一方で、ロシアのウクライナ侵攻の影響による資源価格上昇や急速な円安などでの物価の高騰を受け、この10月から最低賃金の大幅アップ(東京では31円の上昇)が決定されております。配分金から消費税を差し引くことは、この方向性に反しており、実施するには無理があります。

そこで、品川区シルバー人材センターでは、インボイス制度開始後の対応策としては、

お客様(発注者)に対し、事務費相当分の「値上げ」を求め納税額を確保する。



ことを基本方針としたいと考えています。

この方法を採用することにより、当センターは事業を継続していくことができ、また会員の皆様も新たな税負担を被ることなく活動を継続することができます。

しかし、この方針を採用ことでの欠点も当然あります。発注者側は、経費負担が増すことから容易にこれに応じないことが予測され、結果として注文そのものがなくなってしまうリスクも考えられます。

そこで、交渉不調によるリスク低減を図るため、ここ2年ほど繰り返し越した黒字額を基金として活用し、不調による不足を補うことにも取り組みたいと考えています。

いずれにせよ、今後、お客様への説明方法や、見積り計算の確な対応など細部を十分に検討しながら対応策を固め、具体的にご案内してまいります。ご理解ご協力いただきますようよろしくお願いたします。

## 11月は、令和4年度2回目の安全就業強化月間です。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため仕事以外の外出が減ったせいか、事故の発生が増加しています。自分だけはケガをしない、大丈夫だと過信せずに、この機会に今一度安全確認を徹底してください。

事故原因で一番多いのは、転倒によるものです。これまで転倒事故を経験した方に話を聞くと、自分が転倒するとは思っていなかったという方が大半です。何の変哲もない道でも靴が引っかけたり転倒された方もいます。普段から、雨だから靴が滑るかも、路面が滑るかもしれない、段差に足を取られるかもしれない等危険予知を実行し、事故には遭わずに、生涯現役を目指しましょう。また、今年の傷害事故発生件数は、昨年に比べ相当増えているのが現状です。転倒事故だけでなく、骨折した会員もおり、入院を伴う重篤事故になっていきます。事故にはくれぐれも注意し、危険予知を行い安全確保に注意を払ってください。

## ●危険予知のやり方

どんなところに危険が潜んでいるか予知・予測して事故を未然に防止するために行うものです。

自分が今まで経験した中で、ヒヤッとした場面を思い出したり、シルバーで実際に発生した事故事例を参考に、どうすれば事故は回避できるかを日々確認することです。

## ●グループ作業の場合(指差し唱和)

作業前に体調確認・つま先立ち体操

をまず行いましょう。そして、その日行う作業で気をつけることを、グループ全員で確認しましょう。一番良いのは注意すべき点を指差し確認、唱和することです。

例「ヘルメットのあご紐緩み確認」  
全員で指差し「あご紐確認ヨシ」

●一人現場での場合(指差し呼称)  
ご自宅を出る前、作業開始前に気をつける事項を指差しして、声に出して行う方法です。例えば現場に着くまで「交通事故に注意」「雨で足元注意」などです。

また、一人現場では特に慣れが出やすくなりますので、作業前にも指差しして、声に出して確認をして下さい。例えば、「階段清掃は段差に注意」「雨なのでマンホールに注意」などです。特に実際ヒヤッとした場面は忘れないように声に出し、指差し呼称を行って下さい。

## ●安全標語の募集について

テーマ① 「健康管理」

テーマ② 「転倒事故防止」

各テーマにつき、お一人1点まで。応募期間11月1日～11月末日。ハガキにテーマと標語・会員番号・氏名を明記の上、本部事務局へ郵送か各拠点へ提出(大井作業所は除く。)



会員さん趣味のコーナー

海釣りとお散歩60年

大井東地区 小田 正昭

私が初めて釣りをしたのは、父に連れられて行った品川沖のハゼ釣りでした。小学校1年生ながら、ハゼを28匹釣ったことを今でもはっきり覚えています。ここで釣りの楽しみを覚え、毎週のように学校の仲間と自転車ではぜやカレイ釣りに行っていました。当時は、子供心にも将来の夢は釣り道具屋になることでした。

高校生になったころには社会人の釣りクラブに入って投げ釣りに夢中になり、大学入学前には当時珍しかった船舶の免許を取得しました。このボートの免許が私の趣味の幅を大きく変えてくれました。社会人になってから最初こそ小さいボートを買って新木場周辺でのシーバスというスズキをルアーで釣ることでしたが、ここでゲームフィッシングという言葉を知り、JGFA(ジャパングームフィッシング協会)という世界共通のルールで魚を釣る団体に加盟して、いよいよ競技にはまっていきました。

30代後半からはカジキ釣りを始め、現役バリバリの頃は和歌山から北陸塩釜までボートで全国各地を転戦するようになり、毎週金曜日にトーナメント会場に行っては、ボートに泊まり込みでカジキを狙って

いました。たくさん仲間が全国にでき、大変楽しく過ごさせていただきました。

昨今は第一線から退き、トーナメントには大会の手伝いをする裏方として参加しています。今年は3年ぶりに静岡県下田市で国際カジキ釣り大会が開かれました。7月22日(金)から7月24日(日)の3日間、海外からの選手も含め総勢600名もの選手が参加する、一大イベントとなりました。釣果での最大は185kg、全長3mを超すクロカワカジキを釣り上げたチームでした。天候の悪化で中1日は中止となりましたが、久しぶりに仲間と楽しい時間を過ごさせていただけました。また来年も会おうと約束して帰路につきました。



会員さん趣味のコーナー

写経

大井東地区 安藤 成子

昨今、諸寺にて様々な写経会が行われていますが、祈願を主とする納経写経ですか、古式に則って一字一仏の心で、ただ黙々と書写することが重視され、字の上手下手は余り問題とされません。

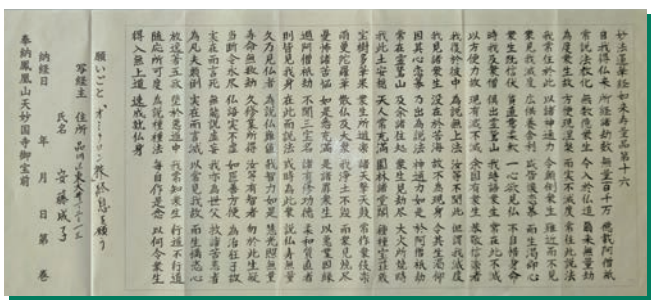
私は、書道、墨絵には長い間親しんできたものの、細字には縁が遠かったというのがこれまででした。そんな中、ある日我家の菩提寺の玄関に貼られた、毎月第四土曜日一時より開催の写経の会の案内が目にとまりました。お寺に何うと、強制ではなくお時間の許す限りご参加下さいとのことでした。

それが今から三年前のことと、写経の会に出席するようになる始まりでした。お寺の奥部屋に通されると、一人に一机の席が用意され、机の上には半紙がきちんと台紙の上に重ねられ、文鎮も準備されています。聞くところによると、会には通常三十名が参加されるとのことでした。

静寂な雰囲気の中で心を

しつかり落ち着かせ筆を進めました。毎朝仏前に唱える経本の書写となるとなかなか筆が進みません。無心に書写しつつも周りの方が退出される度に気を取られ焦ってしまつたのを今でも覚えています。

最近ではコロナ騒ぎでお寺の方でも休会する日が多くなりました。シルバー会員の方も五名入会されたのを機に、益々「一字一仏」の思いで写経に励もうと思っております。



会員の皆様

普段やっていること、これからしようと思っていること、どんなことでも結構です。投稿を歓迎します。写真やこんな趣味等募集しています。事務局まで

### 共助会からのお知らせ

令和4年度第2回共助会評議員会を開催 8月25日(木)

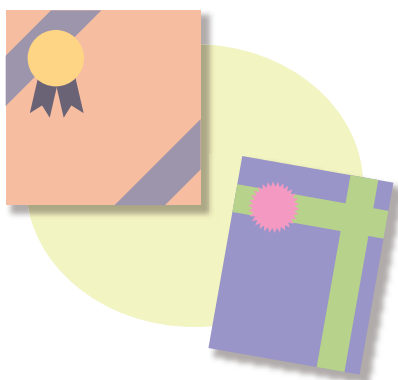
#### 令和4年度臨時助成事業

7月1日号でお知らせいたしましたですが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により1泊旅行は残念ながら中止となりました。共助会事業の中でも一番の大きな行事が令和2年度より3年続けて中止となったことを受け、それに替わる臨時助成事業を行うことになりました。

評議員会では、日帰りレクリエーション活動、新年会へのそれぞれ上乗せ助成を検討しました。しかし、ある地区委員会で計画した、10月実施の日帰りレクリエーション活動の募集参加者がコロナ感染者の高止まりのためか最小催行人員に満たず中止となりました。それもあって、日帰りレクリエーション、新年会への上乗せ臨時助成は実現が見通せず見送らざるを得なくな

りました。

次善の策として、今年の新年度向けに地区委員会が行った記念品配布が今年度も実施予定のため、より広く助成金額が会員に行き渡る手段として、共助会からの助成金額を上乗せする形で配布記念品のグレードアップを図るのが良いのではないかと結論に至りました。



記念品については皆様に喜んでいただけるよう現在検討中ですので、楽しみにお待ちください。

#### 就業相談

仕事のことや職場の悩みなど、理事が相談をお受けします。

十月十三日(木) 午後一時～午後四時

本 部 和 泉 副会長  
荏原支部 朝 岡 理事

十一月十日(木) 午後一時～午後四時

本 部 田 山 理事  
荏原支部 阿 部 理事

十二月八日(木) 午後一時～午後四時

本 部 朝 岡 副会長  
荏原支部 朝 岡 理事

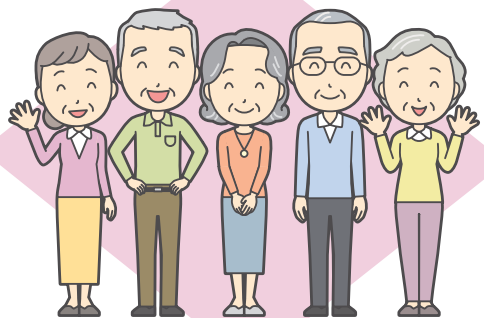
#### 会員総数

令和4年9月1日現在

2,187名

男 1,178名

女 1,009名



#### シルバー人材活動中!

#### あとがき

秋といえば紅葉ですが、秋の七草については、余り話題に上らないので、少々調べてみました。

萩(ハギ)、尾花(オバナ)、ススキ、葛(クズ)、撫子(ナデシコ)、女郎花(オミナエシ)、藤袴(フジバカマ)、桔梗(キキョウ)以上七つの草花が秋の七草です。春の七草は無病息災を祈り、また、正月料理で疲れた胃腸を休める為に七草粥として食すことで有名です。

一方、秋の七草はというと、秋を代表する野山に咲く草花として、私達の目を楽しませてくれるだけのように思えます。ですが、葛から生成される葛根湯のように風邪薬として有名なものもあり、実用的な草花として昔から日本人に親しまれたものが選ばれています。

野生では目にする機会の少ない秋の七草ですが、場所によって尾花(ススキ)が穂をゆらしている姿を目にする機会はあります。他の花は生花店の店頭で見受けられますので、種類でも家に飾って、目の保養とするのが良いかと思えます。皆さん試してみてくださいは如何でしょうか。

(担当理事 野口サチ子)

